



阪神カウンセリング・ラボ ニュースレター

2021 11月号



ウナギの話 (5)

ラジオ番組「武田鉄矢今朝の三枚おろし」で聞いた話をもとに、7月号から続く、ウナギの話



ウナギありがとう！

10月号で記載した仮説に基づけば、例えば、O（酸素）は、Oになるべく記憶を持ち、H（水素）は、Hになるべく記憶を持って存在します。その後、O一つとH二つが合わさると、水という分子 H_2O になり、水は、O一つとH二つが結合すると水になるという記憶を持つことになります。こうして長い年月を経て、あらゆる原子の結合によって分子が生まれます。そして、複雑な分子の結合である生物が生まれ、私たち人間の肉体が生まれます。おそらく、私たち人間にも、ウナギにも、そのエネルギー（ゼロポイントフィールド）の中に、それぞれの進化の過程の記憶が存在しているはずで、その記憶に基づいて、すべてのものが生まれるのです。そうでないとそれぞれ独特な生命体である存在が、それなりのカタチを持ってないのだろうという考えです。

エネルギーは、進化の過程で、生物のそれまでの記憶を持って存在しているのではないかと。人間には人間の現時点までのすべての記憶を持っていないと、人間になれないはずで、精子と卵子のあんなに小さな細胞から、人間が出来上がるのです。その小さな細胞に、人間になるべくする記憶があるのです。

同じように、ウナギはウナギの現時点までのすべての記憶を持っています。その記憶に基づいて、地球や宇宙の外在的な手掛かりを見つけ、数千キロの旅を間違いなく行うのだと考えます。

この仮説は、人間の意識は脳にあるというこれまで有力とみられてきた一元論から、その他のところにあるという少数派の二元論が解明されるまで待つしかないかもしれません（今の科学では、一元論は誤りであると断定する意見もあります）。一元論か二元論かは今後の課題だとしても、これまで記載してきたウナギの行動に関しては、東大や慶応義塾大学でも感覚器官や脳の機能と行動の関係を明らかにしようと研究がなされているそうです。それらの結果も楽しみです。

静岡生まれの私にとって親しみのあるウナギが、これほどまで面白い存在であることを知り、考えを巡らせるきっかけになりました。

阪神カウンセリング・ラボ

<https://www.hanshin-cl.com/>

* 梅田相談室

〒530-0014

大阪市北区鶴野町4-11 朝日プラザ梅田9階910

Tel/Fax 06 - 6147 - 2533

E-mail hanshin-cl@star.ocn.ne.jp

* 明石相談室

〒673-0891

明石市大明石町1-7-4 白菊グランドビル512

Tel 078 - 917 - 6880

